

しあわせ家族計画 字幕

Chapter2: Moving

ゆうこ 優子 : 消さないでよ、気が滅入る¹から

よしぞう 義造 : おう、来やがったな²

ふじお 富士夫 : すみません、あの、この年の瀬³に

よしぞう 義造 : なあに⁴、にぎやかで結構なことよ⁵

つねこ 恒子 : 中入って

あとで、おいしいおそば^{つく}作ってあげるから

ゆうこ 優子 : ねえ、お店の前、車、邪魔^{みせ まえ くるま じゃま}じゃない

つねこ 恒子 : 大晦日^{おおみそか}だったって⁶、どうせ⁷客^{きやく}なんか来^きやしない⁸から
だいじょうぶ、だいじょうぶ

よしぞう 義造 : ばあさん

ゆうこ 優子 : こんな^すの、捨てちゃおうかな⁹

つねこ 恒子 : 何^{なに}、言^いってたんだ¹⁰
もったいないね

ゆうこ 優子 : だって、がらくたばかりなんだもん¹¹

つねこ 恒子 : ね、なに、富士夫^{ふじお}さん、次^{つぎ}の勤^{つと}め口^{ぐち}¹²、なんか当^あてあんのかい¹³

ゆうこ 優子 : さ、どうだか¹⁴

あたし、お勤^{つと}めしようかな¹⁵

つねこ 恒子 : ばか、何^{なに}言^いってたんの、そんな歳^{とし}¹⁶になって

ゆうこ 優子 : 失礼^{しつれい}ね

よしたろう 由太郎 : お姉^{ねえ}ちゃん、テレビどこ置^おくの

ようこ 陽子 : 無理^{むり}だよ、せまくて

よしたろう 由太郎 : えええ、ドリームキャストできないじゃん¹⁷

ようこ 陽子 : うわああ、最^{さいあく}悪

ゆうこ 優子 : 蕎^{そば}麦^あがゆだった¹⁸わよ

何^{なに}してんの¹⁹、そんなとこ²⁰で

富士夫 : ん、ん、ちょっと²¹
優子 : 変な人

テレビ : 「第40回輝く日本レコード大賞²²」

由太郎 : うめえ²³

義造 : おお、そうか
いっぱい食え²⁴

恒子 : うめえええ

優子 : 飲み過ぎよ

恒子 : いいじゃないの、大晦日^{おおみそか}なんだから

優子 : なに受け取ってんのよ²⁵
ああ、おいし

義造 : お前^{まえ}が飲むんじゃねえよ²⁶

優子 : もったいないじゃない
この人^{ひと}飲めないって言ってたでしょ²⁷

義造 : そっか²⁸

義造 : どうだい²⁹、富士夫^{ふじおくん}君

この際^{さい}だから³⁰、再就職^{さいしゅうしょく}なんて³¹考え^{かんが}ずに³²、うちで働^{はたら}かんか³³

これからは会社^{かいしゃ}なんか³⁴当て^あにならんぞ³⁵

男^{おとこ}はなんつってもな³⁶、これよ

恒子 : あんた

義造 : もとい³⁷、もとい
これ、これ

富士夫 : ごもつともです³⁸

義造 : おう、坊主^{ぼうず}³⁹
今度^{こんど}から、本町^{ほんちょう}小学校^{しょうがっこう}⁴⁰だな

あそこはいいぞ
何^{なん}せ⁴¹、スポーツがつよい

優子 : だから心配^{しんぱい}なのよ
由太郎^{よしたろう}、お父^{とう}さんに似^にて、運動^{うんどう}神経^{しんけい}ゼロなんだから

恒子 : ああ、どうした
ばあちゃんのそば、うまくないかい⁴²

陽子 : ううん

優子 : 今度^{こんど}はちゃんと行きなさいよ、学校^{がっこう}

ようこ
陽子 : わかってるよ
つねこ
恒子 : 行くよね、ちゃんと
ゆうこ
優子 : また
つねこ
恒子 : いいじゃないか、ケチ⁴³だねえ
ゆうこ
優子 : お母ちゃんのために言ってるのよ⁴⁴
よしぞう
義造 : 静かに食べよ、おめえ⁴⁵達は
ゆうこ
優子 : なに⁴⁶、いつもお父ちゃんの方がうるさいじゃないのよ

よし たろう
由太郎 : ほら見ろ⁴⁷
ようこ
陽子 : うるさい
よし たろう
由太郎 : いくぞ⁴⁸

ゆうこ
優子 : お待たせしました⁴⁹
これどうぞ
つねこ
恒子 : 今年もよろしくお願いします
ゆうこ
優子 : お願いします
またどうぞ
ゆうこ
優子 : お母さん、年始のお客^{きやく}って、こんなだった
つねこ
恒子 : 毎年、歯が抜けるみたいに⁵⁰減ってるわよ
ゆうこ
優子 : やっていいんの⁵¹

よしぞう
義造 : ほらほら⁵²、さっき言ったじゃねえか⁵³
てまえはんぶん⁵⁴にアンを引くんだよ⁵⁵、てまえはんぶん
やさしく、やさしく、そうそう
か、かわを持って、かわをこっち起こして⁵⁶、戻すように⁵⁷丸めるんだよ⁵⁸
ううん、ああ
まれ⁵⁹に見る不器用な⁵⁹男^{おとこ}だ
ふじお
富士夫 : すいません

しょうた
章太 : 文句あんのかよ⁶⁰、転校生
ようこ
陽子 : なあんだ⁶¹、タバコかと思った

富士夫 : いくぞ
 ごめん、ごめん
 由太郎 : 今度の学校でさあ、野球部入りたいってお母さんに言ったら、ダメだって
 どうせ⁶² 長続きしないからだってさ
 富士夫 : そんなの、やってみないと分かんないだろう
 由太郎 : だめだよ
 お父さんに似て、運動神経ゼロなんだから
 ついてないよな⁶³
 なんで⁶⁴ 父さんに似たんだろう
 富士夫 : 言いたい放題言いやがって⁶⁵
 見てろ⁶⁶
 ヤバい⁶⁷
 由太郎 : お父さん
 親が先に逃げて⁶⁸ どうすんの⁶⁹

 優子 : 市の制度で、事業融資資金が500万円、借りられるらしいの
 年利2.5%で、償還期限が6年
 フランチャイズに加盟すれば⁷⁰、年利5.9%で、融資も受けられるそうよ
 で⁷¹ 運転資金はあたし⁷² のへそくり⁷³ と富士夫さんの退職金の
 一部でね、何とかなる⁷⁴ と思うのよ
 恒子 : だけどその、もうかる⁷⁵ のかい、その弁当屋ってというのは
 優子 : チェーン店⁷⁶ だから、そこそこは⁷⁷ いくわよ⁷⁸
 義造 : くだらん⁷⁹
 何が弁当屋だい⁸⁰
 優子 : いい⁸¹
 つぶれそうな⁸² 酒屋は、お店をコンビニに改造するのよ
 コンビニにお客が入れば、お酒が売れる
 弁当屋に、お客が入れば、おまんじゅうだって⁸³ 売れるわよ
 義造 : ふざけるな⁸⁴
 俺の店のどこがつぶれそうなんだ⁸⁵
 優子 : つぶれるわよ、今のままじゃ
 帳簿みたんだから
 ずうっと赤字続き⁸⁶ じゃない
 義造 : このやろう⁸⁷

勝手に押しかけて来やがって⁸⁸、店まで取り上げようっつうのか⁸⁹
誰の世話になってんだ⁹⁰

ゆうこ 優子 : あたしはね、お父さんやお母さんのためを思って⁹¹言ってるんじゃないの
よしぞう 義造 : 黙れ⁹²

おう⁹³、あんた
寝ぼけてやがるんだ⁹⁴
構わねえから⁹⁵、一発⁹⁶、ひっぱたいてくれ⁹⁷

ふじお 富士夫 : いえ、それは
よしぞう 義造 : 何、じゃ、あんたもグルか
くだらん

女の言いなりになんかなりやがって⁹⁸

ふじお 富士夫 : グルだなんて⁹⁹、あの、そんな、あの
ゆうこ 優子 : あなた、どっちの味方なのよ

この店はもうダメだって、はっきり言ってやりなさいよ¹⁰⁰

よしぞう 義造 : だまれ、だまれ
勝手なまね¹⁰¹は、絶対に許さんぞ¹⁰²
文句あるなら出てけ¹⁰³

お前ら¹⁰⁴呼んだ覚えはないわい¹⁰⁵

ゆうこ 優子 : どこ行くの、変な格好して¹⁰⁶
よしぞう 義造 : 変な
大きなお世話だい¹⁰⁷

ふじお 富士夫 : お父さん
つねこ 恒子 : ほっときやいい¹⁰⁸んだよ、どうせ行くところは決まってるんだから¹⁰⁹
ゆうこ 優子 : そういう訳にはいかないでしょう¹¹⁰

あなた！何してんのよ
ぼうっと¹¹¹してないで、説得してきなさいよ

ふじお 富士夫 : 僕が

よしぞう 義造 : 変か

よしぞう 義造 : あんたには、すまんな¹¹²
何がおかしい

ま、優子の言う事も分からんではない¹¹³が、店の事は俺が一番よく分かってる

富士夫 : ええ、そりゃ¹¹⁴、もちろん¹¹⁵です

義造 : やりにくいな¹¹⁶

男同士¹¹⁷の話に顔を突っ込むんじゃねえ¹¹⁸

義造 : とにかく、ダメな物はダメだ¹¹⁹

冗談じゃない¹²⁰、弁当屋なんて